

大 濠 人

2007-41-2

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<http://www.ohsa.jp>

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会

〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号

同窓会事務局/TEL・FAX 092-714-1681

発行人 山下矩生

編集人 広報・IT委員会

同窓会は 故郷の灯台です



同窓会諸兄におかれましては、ご健勝で活躍のこのと拝察申し上げます。

ます。さて同窓会は今春も若い卒業生を迎え、伝統に力強いエネルギーを加えました。多くの同窓生のお力添えをいただき、同窓会は益々発展することと夢を抱かずにはいられません。我々同窓生は二〇代から七〇代まで幅広く様々な職域、地域、団体で活躍しています。それぞれの世代にそれぞれの価値観があります。しかし大濠高校の同窓生は同級生のみならず、先輩、後輩の絆を固くもちながら、人生をより心豊かに、有意義に過ごしていこうではありませんか。

同窓会の活動はそう簡単なものではありません。同窓会活動自体が人生の目的や、生き甲斐にはなりにくいでしょう。ただ、同窓会という集まりが我々の心に何らかの情熱をもたらしてくれるのも確かです。それは同窓会が純粋な、利害を超えた集まりであるからといえるでしょう。同窓会は我々を正しく導いてくれる故郷の灯台のようなものだといつも考えています。

我々はその感激の旗のもと同じ理想の光をおおいでいるのであります。

同窓会 第六代会長 山下 矩生

(五回卒)

君らが主役の同窓会！

卒業生各クラスの幹事諸君へ

今回卒業にあたって各クラスの幹事が決まったと思います。恒久的にクラス会のお世話をしてもらいます。今後、担任の先生と連絡を取りあつて、クラスの同窓会などを企画してください。その際の連絡など、同窓会本部でお手伝いします。同窓会本部は売店の裏です。いつでも訪ねてみて下さい。一組の幹事さんは学年の代表幹事です。卒業十周年、二十周年、三十周年と各クラスの幹事さんと連携して記念の同窓会を企画運営して下さい。各クラスの幹事諸君の活躍が同窓会を支えます。

文武両道を支援

平成一三年にスタートした「特別会員」制度。年一口一百万円の会費を頂いて、文武にわたつて、後輩諸君を支援しようという制度です。具体的には伝統ある運動部が全国大会で活躍するためのバックアップをしようということ。文武に高い能力を有する大濠に来たいという生徒を是非とも我々が援助しようではありませんか。現在既に複数のクラブに支援を行い、会員には報告会を行つて、よき交流の場ともなっています。詳しくは最終ページをご覧ください。

「集まっちゃうない!!」

特に、亥どし(13・25・49回卒)
13回卒 還暦を祝おう!

今年は卒業回数4のつく回卒が周年記念の年です。
総会でまっとーばい!

飲んだら乗るな! 乗るなら飲むな!!

飲酒運転追放キャンペーン

大濠同窓会は飲酒運転を決して許しません。



第54回 福岡大学附属 大濠高等学校 同窓会総会 & 懇親会

楽しいアトラクションを企画しております。ぜひお楽しみ下さい

とき 平成19年5月19日(土)

■受付17:30 ■総会18:00 ■懇親会18:30

於 福岡国際ホール TEL092(712)8855

■総会/16F(志賀の間)

■懇親会/16F(大ホール)

会費6,000円

福岡大学附属大濠高等学校同窓会 会長 山下矩生
福岡市中央区六本松1丁目12-1 福岡大学附属大濠高等学校内 TEL092(714)1681

卒業おめでとう
校長 家宇治 輝太郎



諸君同窓会入会おめでとう。諸君のこの三年間あるいは六年間にわたる努力と研鑽を心から讃えたい。「質実剛健」「明朗闊達」「文武両道」の言葉通り、勉学や生徒会活動、部活動において互いに友情を育むと共に、青春のエネルギーを燃焼させ、輝かしい高校生生活を築き上げた。クラブ活動の成果は、選手諸君の活躍によるものだが、その成果は、全校生徒にとって誇りとするものである。今や、時代は大きく変わろうとしている。価値観の多様化や、国際化、情報化の進展と共に、産業、就業構造の変化、少子化。高齢化社会への移行など、社会の様々な分野において広汎かつ急激な変化が進んでいる。そのような来るべき社会の変化に対応するため各分野で諸改革が急速に進められている。しかしどのような社会になろうとも、人として生きる道は不変である。初代校長の井口末吉先生は、昭和二七年の校誌「大濠」創刊号に、「私の期待する人間像の第一に、「信用のできる人」をあげておられる。少し

そのところを引用してみると、「何事にも気持ちよく引き受けてくれる。こちらが期待する以上に要領よく処理してくれる。約束の期日を決して間違えぬ、督促の必要がない、あの人ならば心配は要らぬ、素直に物を見、安心して一切を任せられる人。」と書かれている。諸君たちは、これからどのような人生を歩み、どのような人間になろうとしているのか。「これから如何に生くべきか」悩みは尽きないと思う。私が中学時代に習った、高村光太郎の詩「道程」に「僕の前に道はない。僕の後ろに道はできる。」というのがある。この詩は、諸君達に一つの指針を与える言葉ではないかと思う。自分の前に道はない。自分が草を踏みつけ、茂っている木の枝を切り開いて、踏み分け道を作っていく。自分が歩いた記録が、道として私の跡に作られていく。そこへたどり着くまでの道を、自分にしかないやり方で、自分にしかないルートで形作っていくこと。人生の生きがいとはそういうものではないのか。生きてきた道を残すということは素晴らしいことのように思える。卒業生諸氏の今後の健闘を祈る。

卒業おめでとう
三年の先生方

三年一組 千葉信夫先生



「二期一会」。人との出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れな

三年二組 筒井正二郎先生



「善とは一言にていえば人格の実現である。」
西田幾多郎
『善の研究』より

三年三組 後藤公英先生



卒業おめでとうございませう。これからが本当の勉強だと思えます。何事においても、「習うより慣れよ」の気持ちで頑張ってください。

三年四組 徳永晃一先生



多くの友をつくって大きな視野のもと羽ばたいてください。



三年五組 江島光宏先生

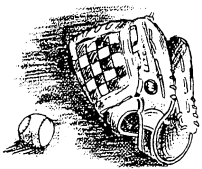


「継続は力なり」とにかく最後まで根気よく続けていけば夢は実現できると思う。決して最後まであきらめないで下さい。

三年六組 牟田公起先生



いつまでも夢を追える若々しい気持ちをもって生きて下さい。



三年七組 平田雅巨先生



「専心」。心を専らにして精進すれば、おおかた良好な人生を送ることができるといいます。頑張ってください。

三年八組 平 繁則先生



道は険しい、されどこの道を行く、この道より他、我を生かす道なし。君たちの人生はこれからが勝負だ！

三年九組 大塩信一先生



卒業おめでとうございませう。卒業は自らの大切な夢の実現に向けた新しいスタートです。しっかりと志を持ち努力すれば必ず道は開けます。頑張ってください、夢の実現のために。

三年一〇組 神田明人先生

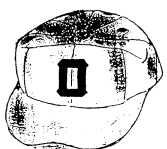


「息子よ、未来は美しい……。」
くぼくらは生まれかわった木の葉のように

三年一一組 今津邦洋先生



時を大切に。感謝を忘れず。



三年一二組 原口宣之先生



三年間、生活面（特に服装・頭髪）、学習面の指導によく耐えてくれました。これから健康に注意して、楽しい生活を送って下さい。卒業おめでとう！

三年一三組 村上修三先生



男はいつも
安心立命！

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{k=1}^n f\left(\frac{k}{n}\right) = \int_0^1 f(x) dx$$

$$\frac{d}{dx} \int_a^x f(t) dt = f(x)$$

$$\begin{cases} y' = e^{-x} \\ y' = -x e^{-x} \\ y' = (x+1) e^{-x} \end{cases}$$

三年一四組 北島義浩先生



卒業おめでとうございませう。これからは日進月歩で進化するデジタル・テクノロジーを受け入れながらも、自らの個を大切に、強い意志をもって、何事にも挑戦し、流されることなく、大地に根ざして生きて下さい。

三年一五組 川浪一也先生



There's security in joining the crowd, but there is something lost, too. Live your life well!

三年一六組 渡辺欣哉先生



明日の為に今日を生きる。



本年度卒業生代表幹事

三年一組 岳 将也君



岳 将也君 本年度卒業の学年代表幹事は三年一組の岳将也君。岳君は三年間硬式野球部に所属し、頑張った。指定校推薦で西南学院大学への進学を決め、後輩の一二年生とともに練習する毎日を送っている。大学でも野球を続ける覚悟だ。「福岡にいたので、同級生のために、同窓会活動も頑張ります。」と代表幹事としての抱負を語ってくれた。

運動部各部の有力選手、

大学での活躍に期待

大石達也投手は早稲田大学進学

硬式野球部の卒業生一八名の中一五名は進学を決定している。大学で硬式野球部に入部予定の者は九名。早稲田大学一名、九州共立大学一名、立命館大学二名、明治大学一名、関西大学一名、福岡大学二名、西南学院大学一名。昨夏県大会優勝候補に数えられながらも苦杯を舐めた屈辱を、是非大学での活躍で晴らしてもらいたいものである。伝統ある各部の有力選手が大学に進

学し、その後の活躍が期待されている。バスケットボール部は慶応義塾大学へ二名、明治大学へ一名、青山学院大学へ一名。バレーボール部は立命館大学へ一名、明治大学へ一名。弓道部は立命館大学へ一名。剣道部・柔道部も早稲田大学へそれぞれ一名の進学が決定している。

今春大学進学状況

九州大学は四三名の合格者

今年も順調な入試結果

今春の大学受験も昨年に引き続き好調な結果であった。国公立大学の合格者は今年も二〇〇名を超えた。防衛大学校の合格者は過去最高で、もちろん日本一。早稲田大学の四四名も過去最高である。中高一貫コースと高校コース、現役と浪人のバランスがよかったのも特徴である。

主な大学合格実績

九州大学	四三名
東京大学	一名
京都大学	二名
東京工業大学	二名
筑波大学	一名
東京医科大学	二名
東京医科歯科大学	一名
横浜国立大学	四名
名古屋大学	一名
大阪大学	三名
神戸大学	三名
北海道大学	五名

九州工業大学	二八名
長崎大学	一一名
佐賀大学	八名
山口大学	八名
熊本大学	二一名
大分大学	三名
鹿児島大学	五名
広島大学	五名
宮崎大学	二名
福岡教育大学	一〇名
北九州市立大学	七名
福岡大学	三五七名
西南学院大学	九〇名
久留米大学(医学部)	四名
立命館アジア太平洋大学	一〇名
早稲田大学	四四名
慶応義塾大学	一三名
慶応義塾大学(医学部)	一名
東京理科大学	四九名
国際基督教大学	一名
立教大学	九名
中央大学	二四名
青山学院大学	五名
明治大学	三四名
法政大学	一九名
芝浦工業大学	一〇名
東京農業大学	一六名
日本大学	一二名
東京慈恵医科大学	一名
同志社大学	四二名
立命館大学	六七名
関西学院大学	二〇名
関西大学	一五名
防衛大学校	六一名
国公立大学合計	二六四名
私立大学合計	一〇六六名

部活動など

春校バレー再び

二月三日、バレーボール部は県大会を制して、春の選抜大会の出場権を得た。三年ぶり五回目の出場である。緒戦から順当な勝ち上がりを見せ、準決勝では九産大九産高校をセットカウント二対〇で退け決勝に進出。決勝は誠修高校との対戦。エース筒井賢太郎(二年)のスパイクや、伝統の超高速コンビが面白いように決まり、セットカウント三対一で優勝を決めた。また昨年二月、佐賀県鳥栖市民体育館で行われた九州大会でもベスト8の成績を収めており、春の選抜大会、いわゆる春高での上位進出が大いに期待される。



ウィンターカップ三位

バスケットボール部

バスケットボール部は年末の選抜大会で三位の成績を収めた。一二月二七日の準決勝で京都の洛南高校に敗れたもの、一八日の三位決定戦で東京の八王子高校を下し、三位。学校からは家宇治校長、相良生徒主事が応援に駆けつけ、関東在住の卒業生も大勢応援に集まった。優勝候補と目される中、順当な勝ち上がりを見せたがベスト8からは苦しい戦いであった。



見事な三位といふべきだろうが、ベスト8でセネガルからの留学生を擁する延岡学園高校を延長戦の末、見事下したことから、優勝の期待が大きくなり、惜しくもというところか。準決勝では優勝を飾った京都の洛南高校に敗れたものの、三位決定戦ではやはり外国人留学生を擁するチームを下しており、実力的には準優勝に等しい。結局、洛南高校は留学生対策をせず大濠対策に集中できる組み合わせとなっていた。エース級があまりにも有力で、マークがきつく、前半でファールを重ねてしまったことが敗因のひとつであろう。宿命のライバルとでも言うべき能代工業高校が敗れていただけに惜しいチャンスであった。

全国選抜大会出場決定

バドミントン部



一月の県大会決勝。同部は三対〇と自由ヶ丘高校を圧倒し、選抜大会の出場権を得た。第三五回の全国選抜大会は、三月二五日より札幌の北海道立総合体育センター「きたえーる」で開催される。北島義浩監督(二八回卒)は「力があるチームなので、組み合わせ次第ではベスト8が充分狙える。」と力強く抱負を語った。ま

た同部は一二月大分県別府アリーナで開催された九州大会でも準優勝という立派な成績を収めており、全国選抜大会での上位進出が大いに期待される。

一二年ぶりNHK旗

硬式野球部



力投する大石投手(桃園球場)

一昨年秋の福岡県南部大会優勝、県大会準優勝で沖縄で行われた九州大会に一年ぶりで出場した硬式野球部。九州大会では八重山商工に敗れた。

八重山商工はこの勝利で勢いに乗り、春の選抜大会に出場、甲子園でも話題をさらった。大濠高校硬式野球部は秋の実績から、夏の福岡大会の前哨戦とも言われるNHK旗選抜野球大会の出場権を得た。有力校ばかりの大会で三回戦まで勝ち進んだが、筑陽学園に敗れた。シードを決めるポイントには久留米商業高校と同点での一位で臨んだ福岡大会であり、優勝候補に挙げられていたが、緒戦福岡第一高校にまさかの敗戦で涙を吞んだ。

新チームは秋の市長杯で準優勝を収めており、今年の夏も期待できそうだ。ここ数年の傾向としては投打がプラスとマイナスを平均してある程度のレベルとなつている。悪く言えば、打撃がいい時は守備が弱く、投手を含めた守備がいい時は打撃が弱い。すなわち、バランスが悪いところか。ともあれ、甲子園出場は同窓生皆が

待ちに待っている。現役の部員諸君は高い目標を掲げ、自分自身の夢の実現のために頑張つて欲しいものだ。

インターハイ(全国大会)

クッキーズ全国で話題

本校の応援指導部は男子のみでチャリディングを行う。通称クッキーズ。全国で初の男子のみのチャリディングで、一昨年からはテレビなどでも紹介され、話題になつてきたが、そのクッキーズが、八月に東京国立代々木競技場で行われた日本選手権大会に出場した。しかもその全国大会で勝ち上がり、最終日八チームで競う決勝戦まで進出した。決勝はミスが重なり惜しくも八位の成績であったが、男子だけのチームが、しかも初出場が決勝まで残つたということでもマスコミからも注目を浴び、一気に全国的に有名になった。

我々大濠のOBがイメージするパンカラな応援団の姿とは程遠い華やかなものであるが、新しい伝統を築いてくれたクッキーズの諸君に大きな拍手を送りたい。また、生徒の可能性を信じ、生徒の個性をあまりなく引き出す大濠という学校のフレキシビリティをあらためて認識したニュースであった。

四〇年ぶりの出場の山岳部

山岳部

八月奈良県で行われた第五〇回記念登山大会に出場。コースは大峯・奥駈・大台山系。炊事・自然観察の二部門で満点をとり、B隊二三パーティー中一位であった。全国から集まった強豪

の常連校の中で、大健闘であった。顧問の原口宣之先生(二〇回卒)は「入賞を狙っていて、体力がものをいう大会四日目が勝負と想っていたところ、前代未聞のアクシデント(参加校の顧問の先生の一人が遭難。)によって四日目が中止となつて入賞を逃したのがたいへん残念だった。」と語った。

バスケットボール部

大阪府立体育館で開催。優勝候補の筆頭に挙げられていたが、準々決勝で洛南高校(京都府)に七三対九三で敗れベスト8。しかし、秋の国体では、本校中心の福岡県選抜が決勝で能代工業高校を中心とした秋田県選抜を一一二対八二の大差で下し優勝を決めた。

剣道部

京都府立体育館で開催。予選リーグ一勝一分であったが、分けた相手との本数差で惜しくも予選敗退した。

柔道部

堺市で開催された大会、個人戦に鐘井佑真君(三年)が出場したが、惜しくも一回戦で敗れた。

日本一の石段にアタック

硬式野球部

冬休みの合宿最終日(二月二十八日、硬式野球部は今年で三年目となった日本一の石段へのチャレンジを行った。(部員全員での参加は二年目)その石段とは、熊本県美里町の神社の石段で三三三三段ある。テレビなどでも報道され全国的にも有名な場所である。下から頂上まで登って降りて来るのに、速い者でも四〇分以上かかる。その石段を午前中二本、昼食をはさんで、午後もう一本の計三本、即ち九九九九段を往復する、かなりハードなチャレンジとなる。午前中二本往復している間に

ふもとでは監督・部長・コーチの三人が百人前の豚汁の準備に忙しい。二本終わつた後は、温かい豚汁でホッと一息つくが、三本目が終わるころは部員の体から湯気があがり、膝はガクガク笑っているという状態になる。午後三時頃全員無事完遂の満足感とともに現地を後にした。日本一の石段を制覇し、夏甲子園出場を目指す!そんな意気込みである。



2x2?

バドミントン部とサッカー部、今年の一年生には二組の双子の兄弟がいる。バドミントン部が北野拓二君と大地君。サッカー部が野口啓介君と駿介君。北野兄弟は九州大会ダブルスで活躍した。クラスも同じで縦に並んで座っている。野口兄弟は2トップ(?)。コンビでの活躍がぜひ見たいものだ。両部とも双子の活躍に期待がかかる。まだまだ一年生、今年も来年も楽しみである。



野口兄弟



北野兄弟

化学部が優秀賞

県審査会

一〇月二十四日、第五〇回日本学生科



学賞の福岡県審査会において、化学部が優秀賞を受賞した。昨年努力賞を受賞したテーマを更に深化させたもの。そのテーマは「環境ホルモンの無害化の研究」。部長の原龍太郎君(三年)は「来年度は、後輩達に最優秀賞を取って欲しい。」と笑顔で語った。顧問の大塩信一先生(二八回卒)は「内容的には大学の研究レベルにある。日頃の活動の成果が発揮され、顧問としても嬉しかった。」と語った。

新聞部が優秀賞

平成一八年八月三十一日に京都市勧業館(みやこメッセ)で行われた第三〇回全国高等学校総合文化祭(インターハイ)の新聞部門に昨年に続き出場した。前年度の福岡県高文祭新聞コンクールで優秀賞(個性の部・構成の部)を受賞、並びに今年の県大会で県総合三位となり部員の江上慎太郎(三年)、平野祥己(二年)の両君が代表で参加した。現在の同部は三年前に再興されたばかりだ。健闘を祈る!

カラーガード部門で銀賞

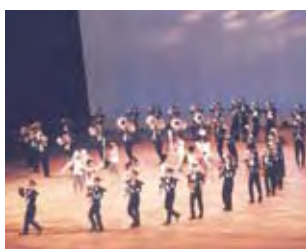
吹奏楽部

新年一月一三日、日本武道館(東京)で第三四回マーチングバンド・パトントワーリング全国大会が行われ、カラーガード部門に出場し銀賞を受賞した。テーマ「波の息吹と俺達の心」。練習の成果を想いっきり熱演した。部員二名が会場でパワフルでリズム感溢れ



金賞ブラバンの第三二回定演会の報告

る一糸乱れぬエンターテイメントを演じ、審査員も「数少ない男子校として良く練成されている」と講評された。同部OBや保護者の熱烈的な支援も素晴らしい。更なる健闘を祈る!



全国大会金賞受賞を始めこれまで数々の成果を誇る吹奏楽部、部員七〇名が厳しい練習に耐えて成長した集大成の演奏で会場の聴衆を感動と興奮のストームに放り込まれた。堂々とした演奏の第一部。パワーとスピードで、しかもスマートなマーチングショーの第二部。エスプリが効いたユーモアと軽快なテンポでおもわず大笑いの第三部。男子校らしい素晴らしいさを示してくれた。



学校行事

体育祭

昔は体育祭と文化祭が一年おきに行われた時期があったりしたが、ここ二〇数年来、体育祭も文化祭も毎年実施されている。開催は昔は九月であったが現在は六月に実施されている。高校一年生にとつては以前よりも早い時期に大濠を実感できる。大濠らしさという点では、この体育祭が昔も今も変わらない伝統の行事だと言つてよいかもしれない。相良浩文生徒主事(一六回卒)と神屋茂生徒課主任(二三回卒)の思い入れも入る。



あのフォークダンスが行われなくなつて久しいが、大濠体操、器械体操は健在。大濠中学生と高校生が最も触れ合うのもこの行事だ。中学生の初々しい様は新鮮だ。ブロックの対抗競技は熾烈を極める。バツクボード、ブロックアトラクショクと併せて総合優勝が決まる。今年は黄色ブロックが見事優勝を飾つた。クラブ対抗リレー、ポスター制作にプ

ログラムの団扇、生徒会、実行委員会、放送部。体育祭は単なる体育行事ではない。大濠の総合力が試される一大イベントである。生徒諸君は、今年も白熱、感動、そして大きな達成感、満足感の中、閉会式を迎えた。大濠全体が本日に輝いた一日であった。



文化祭

九月九日、一〇日の二日間、文化祭が開催された。今年のテーマは「Passion」。今年は六〇を越える団体が参加、両日とも悪天候であったが、三〇〇〇名近くの来校者を迎えた。文化祭実行委員会が中心となり全校あげて行う大濠企画。今年のテーマは「食育」。日常生活における「食」につ

いての研究の成果を発表。健康を支えるための「食」の重要性についてのメッセージを発信した。また開校以来の伝統の弁論大会は文化祭初日に開催。最優秀賞は下向孝君(二年)。「一日の始まりに・・・」という演題で、人の命の尊さと、一生懸命生きることの大切さを弁じた。下向君は九月に行われた福岡県大会(高文連高文祭弁論大会)に出場し、三名中七位で、優良賞を受賞した。



日本の次世代リーダー養成塾に参加

関 友哉君(二年・生徒会長)

「参加して自分の意見がどこまで通用するかを試そうと思ひ参加した。また、柔道家・山下泰裕さんの「夢を持って、ロマンを持って、それに向かつて一歩一歩毎日進んでいけ」という言葉に、教育者を目指そうと思つた。」

今年で三回目を迎え、高校生を対象に、次世代のリーダーを育てることを目的としている養成塾公開講座。平成十八年七月二八日から一三泊一四日、全国から選ばれた高校生一五七名。また、アジアから二〇名の高校生と大学生が参加して宗像市のグローバルアリーナで開かれた。塾生の御手洗経団連合会長はじめ、マレーシア前首相など各界トップ人々の合議を聴き、自分たちの感じたことや心に残つたこと、自分とは異なる意見や経験のある出席者との討議も行われた。



思い出の修学旅行

北海道・道東の旅



北大キャンパスにて

毎年高校二年の秋に実施されている修学旅行は北海道であった。平成六年が初めての北海道であったが、札幌・小樽・函館などが中心。今回の北海道は初めての道東への旅となった。世界自然遺産の知床半島、摩周湖、釧路、網走、富良野など、修学旅行では初めての土地であった。富良野の野外体験ではカヌー、溪流釣り、マウンテンバイク、リフティング(ゴムボートでの急流下り)などのアクティビティーがあり、自然を満喫した。札幌では北海道大学キャンパスツアーが新しいプログラム。知床では熊が出現し、緊急避難。クラス写真の撮影が中止になったクラスがあったというハプニングもあったが、北海道の大自然ならではのエピソードである。生徒達は心地よい疲れを感じつつ、無事福岡に帰り着いた。

盛大に三年生送る

平成一八年度予餞会



剣道部のコント

日一二月二一日、恒例の予餞会が開催された。ブラスバンドの演奏、先方のバンド演奏、剣道部のシヨートコント、フラメンコと盛りだくさん。三年生と三年の先生方の対抗カラオケ歌合戦は大いに盛り上がった。大学受験を間近に控えた三年生にとってはいい景気づけとなったかどうか、ともあれ高校生活最後の楽しい思い出となったであろう。最後に三年の先生方に三年生から感謝の花束が送られ幕を閉じた。

早稲田大学前総長奥島孝康先生来校

総合学習



川原田先生と恩師奥島先生

一月二〇日(土)大濠高校総合学習における講演会の講師として、前早稲田大学総長の奥島孝康先生が来校された。奥島先生は愛媛県のご出身。早稲田大学法学部の卒業で、パリ大学に留学。早稲田大学法学部では学部長を務められた。大濠高校社会科の川原

田篤平先生(二二回卒)は法学部のゼミの教え子である。平成六年から八年間早稲田大学の第一四代総長を務められた。早稲田大学の初代総長は大隈重信侯があまりにも有名。大隈侯が佐賀県の出身で早稲田大学の九州との縁も浅からず、早稲田大学がアジアに開かれた大学とのことから、奥島先生も予てより九州の地理的利便性を説いておられたが、今回の講演もその趣旨に沿った内容であった。先ずは読書体験の重要性。知の客観性と主体性。日本の歴史、文化は全て九州からというお話。その九州にあって、九州男児としていかに生かすべきかというお話。先生の魅力あるお人柄から早稲田という大学を彷彿することができる講演であった。

野球部グラウンド着工

二月二〇日、福岡市西区女原の福岡大学校地で硬式野球部新球場(仮称)の着工安全祈願祭が行われた。福岡大学から学長をはじめ三名の副学長などを迎え、大濠からは校長・両教頭・事務長・硬式野球部中野監督・和田部長が参加して工事の安全を祈願した。新球場はJR筑肥線の新しい九大学研都市駅に隣接した広大な敷地に建設される。完成は九月の予定。完成後は招待試合などの祝賀行事が予定されている。

校内恒例の寒稽古

硬式野球部Aチームの四連覇で納会。大濠恒例の寒稽古が暖冬傾向が続く大寒日の二四日から四日間、中学と高



校で行われた。まだ暗い早朝、これも恒例となつている大濠公園周回コースを毎日早朝の七時から各部々員達が他校生や一般市民もまじえたなかを力強く走り込んだ。納会日の二七日は納めの各部対抗駅伝大会が同コースで行われた。当日公式試合などの部を除く高校七部一四チーム、中学七部一五チームが競った。生憎の雨粒が降り注ぐなかの抜きつ抜かれつ白熱したレース展開となった。胸のゼッケンが雨で破れたりしたサプライズも起きたが、生徒会役員の周到な準備と先導に沿って進行され、無事ゴールインとなった。結果、高校は今年も硬式野球部Aチームが三三分二四秒で優勝して大会四連覇の栄冠に輝いた。中学は、バスケット部Aチームが三四分二秒で優勝。続いて、表彰式と納会が行われ表彰状と優勝トロフィーが家宇治校長から授与された。そして、校長からは、この大寒に、その自然のなかに自身をさらし鍛えること(自分に負けない)の意義。今年の各部が各大会で精進の成果を得られるようにと激励。運営を取り切った生徒会にも労いの挨拶があった。また、高校の関友哉(二年)、中学の大坪駿介(二年)の両生徒会長が各代表して納会の挨拶を行い、待ちに待った甘い「ぜんざい」と熱々の「うどん」をほお張った。



OB活躍しています

出会いを大切に



石村國芳(一三回卒)
博多区堅粕にある福岡県立福岡高等学校に勤務しています。校門を入ると不死鳥精神の象徴であるフェニックスが目飛び込みます。校訓「至誠励業」「剛健成風」

「操守堅固」の元、「自己実現」「感動と情熱」「学年を超えた深い繋がり」を大切に生徒と共に猪突猛進しています。

生涯の恩師である井口末吉大濠高校初代校長との出会いで、私は自分の人生を大きく変えて頂きました。銀行員を夢見ていた私が教職の道に歩き始めたのも、「君が目指す教員にこだわりなさい」と言われた一言が、今の教職への決心でした。

井口末吉校長は私が教頭をしていた鞍手高等学校の第三代校長であり、いま校長をしている福岡高等学校の第四代校長でもありました。私が教師になった時井口校長が言われたことに「生徒が好きになれなくなったら教職を辞しなさい」「生徒のことで涙が流せない教師なら教職を辞めなさい」でした。今もこの事が私の課題であり、すべての教師の課題でなければならぬと思います。

「礼儀正しく、したたかに大きく生きる生き方」を問われた高校三年間は、人生観・人間観・価値観確立の時空でした。「わるそう」もするけど、みんな澁刺と学校生活をしていて印象があります。三年間、国語の松尾藤四郎先生が担任で、私たちは尊敬もし、また大好きな先生でした。三年生の時に、今の新しい校舎に移りました。ですから一・二年生は伝統ある木造校舎でした。その木造校舎に、何かしら

愛着と「学校」という温もりを感じていました。今は、目の前にいる私の自慢であり、誇りである福高生が、夢を自分の力で実現し、誇りよく羽ばたいてくれることを日々願って、頑張っています。又、福岡県の公立高校と私立高校が他県を圧倒するため、共に切磋琢磨し、学習面でも部活動の面でもパワーアップすることを期待しています。

博多華丸 大ブレイク



昨年ピン芸人(一人でやるお笑い)の大賞、『R1グランプリ』を獲得した華丸。東京を中心にテレビで大活躍である。吉本興業という最大手に入ったものの、長い下積みであったが、ようやく日の目を見た。華丸は高校二年の夏まで軟式野球部で頑張っていた。軟式野球部が初の全国大会出場を決めたその直後にお笑いに専念するために、部を去った。当時の芸はやはりものまね。アニメキャラや大濠の先生方のものまねが多かった。予餞会でも大活躍。福岡大学では軟式野球部の友人Nとともに落語研究会に入った。もちろん、「福々亭」を名のつた。その後、吉本に入り現在に至っている。今後の活躍がますます楽しみである。

ギンギラの大塚ムネト

(三二回卒、劇団「ギンギラ太陽」主宰)
「地元の人にしか分からない劇」づくりにこだわりチャレンジしています！



去る四月二〇日から三〇日まで、福岡市・天神の西鉄ホール(西鉄ソラリアホテル)で大塚ムネトさん率いる劇団「ギンギラ太陽」が新作の「スーパーマーケット三国志」を上演した。「溯上百貨店」「スーパーダイエー」などの役に扮した役者たちが頭にかぶりモノを被り面白おかしくユーモアたっぷりに演じた。その上演の反響はなかなかのもので、その一つに地方紙西日本新聞・経済面の「気流」でも、これぞ「地元密着」と言うものかと会場の賑わいを伝える記事が掲載された。

主宰の大塚ムネトさんは、大濠高在校中から演劇に興味を持ち、興味を抱いたことに集中した三年間だった。また、被りものを活用することになったのは、幼児期から家業の工作道具などを利用した自由工作遊びで育った環境から創作や創造力を身に付けたようだ。そして、卒業後ただちに演劇界に指南を求めて上京し見聞をひろめる活動を開始した。しかし、やはり博多で、住み慣れた地元から演劇を発信しようと決意し、脚本の起草から被りものの製作、演出までも自作できる主宰を務め、これまで一步一步着実に成果を積み上げて今回の上演に至っている。同窓生の皆さん、これからムネトさんに注目してください！応援して下さい！

明德義塾監督の森大樹氏

(剣道部OB・四三回卒)
一〇月体育の日を含む三連休、初秋の心地よい快晴の下にはるばる四国の徳島と高知から錬成試合に二校が来校した。

先ず、徳島県立川島高等学校の剣道部員十七名。今年同県代表として第五三回インターハイに三度目の出場を果たし、ベスト16の成績を誇る。次に、森監督率いる、高知県明德義塾中・高校の高校剣道部員一二名。森監督は中学の監督も兼任しており今年同県代



表として中学校全国大会で見事優勝し全国制覇の栄冠に輝いている。高校も昨年は県代表でインターハイに見事優勝して高校剣道の覇者となっている。また、今年八月岡山県で行われた中国・四国地区の私学高校剣道大会でも優勝している。同監督の大濠剣道部当時の戦績は、平成七年度インターハイ団体優勝(次鋒で出場)、そして個人戦第二位と輝かしい成績を挙げている。また、玉竜旗大会はベスト8だった。なお、現在も現役で、同県代表選手として全日本剣道選手権大会に数多く出場。更なる活躍を祈る次第である。

笑福亭風喬さん NHK演芸大賞受賞



上方落語家の笑福亭風喬さん(本名・石井康久・三九回卒)が若手の登竜門であるNHKの演芸大賞落語部門で大賞を受賞した。風喬さんは高校時代剣道部に所属。関西大学に進学後、大阪からお笑いだろうと落語研究会に入部。寄席で出会った六代目笑福亭松喬師匠の落語に魅了され、一九九八年に入門した。受賞後、風喬さんは、嘶家として一步を踏み出せた。これからの勝負と意気込みを語った。

一二月一日風喬さんは大濠高校に恩師黒木貞光先生を訪ね、久闊を叙した。教え子の風喬さんの頼もしい活躍ぶりに黒木先生も満面の笑顔であった。二二日には福岡のNHKで高座に上がり、故郷に錦を飾った風喬さんであった。尚、その模様はTVでもオンエアされた。



第三四回古光書展を 市美術館で公開



母校、大濠高校創設の昭和二六年に入学生書道部創部にかかわった柴田博康氏(昭和二九年卒・一回卒、雅号牧雨)が現在主宰している古光書道会の第三四回作品展を中央区大濠の福岡市立美術館で行った。

同書道部は昭和二六年、井口初代校長、立石・松原・白水各先生のきもいりで創部された。そして、白水先生が市内の児童生徒向けの習字教室を市内数箇所で開催指導していたが、本格的に書道を研鑽修行する場を設けることになり古光書道会が創設された。その伝統ある会にはこれまで書道部OBの大濠人の同窓生が多数学んでいる。今回、出展した方々は、同窓会第二代会長である村上正人氏(二九年卒・一回卒、雅号冬光)

岡 稔氏(三〇年卒・二回卒、雅号桑玄)
喜多原信幸氏(三〇年卒・二回卒、同)
飯田義望氏(三五年卒・七回卒、同)
大野憲俊氏(三八年卒・一回卒、同)
原博幸氏(四〇年卒・一回卒、雅号天蓋)
芝武治氏(四一年卒・一回卒、雅号洗耳)
と柴田氏の八名。
これまで本業は勿論のこと、書の道を永年に亘り精進してこられた皆さんの努力には敬意を

表します。同窓生・大濠人の誇りです。また、岡桑玄先輩には、大濠同窓会紙「大濠人」の題字を揮毫して頂いている。感謝！

第五回全日本剣道 選手権大会に出場

全日本剣道選手権大会は、二回目の出場
剣道部OB・梅山義隆氏・五段
(四一回卒)

全国各都道府県の予選を勝ち抜いた強豪剣士達が出場し栄冠を目指し戦う。その二〇〇六年度第五回全日本剣道選手権(個人戦)大会が東京・日本武道館で一月三日(金・文化の日)に開催され、剣道部OBの梅山義隆氏(四一回卒NTT東日本勤務)が出場します。同氏は、在校生だった平成五年度のインターハイで同剣道部が見事に優勝。全国制覇に先鋒としての力を発揮して貢献されています。ご当地在住の同窓生の皆さん、また、剣道ファンの皆さん、当日会場で同窓生剣士の剣捌きを観てください。

演劇の殿堂『博多座』で活躍 六人の同窓生



高校時代の山本君(右)といえは『博多座』その『博多座』で六人の大濠卒業生が働いている。大濠高校のエリアを担当して営業活動をしているのが、二五回卒の山本哲郎君だ。公立の中学校、

高校などでも『博多座』を利用しての芸術鑑

賞教室を推進しているようで、なんとか大濠でも実施できないかと計画中である。高校では毎年一二年生が秋に芸術鑑賞を行っており、演劇鑑賞と音楽鑑賞を交互に実施している。その際、福岡シテイ劇場での劇団「四季」による『オペラ座の怪人』を鑑賞した実績もあるの、なんとか『博多座』での歌舞伎の鑑賞も実現できるのではとの声もある。『博多座』ご利用についてのご用命は山本君までご連絡いただきたい。同窓会の行事として団体での鑑賞会なども可能ではないかと思われる。

バスケットOB大舞台で活躍

関東大学バスケットボール一部リーグの慶応義塾大学で大濠OBの二人が中心選手として活躍している。酒井泰滋君(環境情報学部四年)と小林大祐君(同一年)の二人だ。本年度の大学選手権決勝で東海大学と優勝を争い、惜しくも準優勝に終わったが、その試合でも二人は活躍した。早稲田大学との対抗戦では両チームが大濠OB(早稲田には田上君と山田君)がいて、同時にコートに立っているという何とも嬉しい光景も見られた。今春には酒井君の弟祐典君と加藤誉樹君二名が慶応義塾大学への入学を決めており、ますます楽しみが増えそうだ。

駅伝シーズンに大活躍



第五回九州一周駅伝競走大会が一月三日から二日間七二区間で競われた。二連覇が懸かる福岡県チームにOBの有岡剛志氏(三九回卒・西日本鉄道)と長尾洋平氏(四八回卒・黒崎播磨)の二名が出場した。チーム最年長で経験豊富な有岡氏の健脚は三個の区間賞を手にした。そしてチームも当初目標どおり優勝して福岡県の二連覇に貢献した。第四八回九州実業団毎日駅伝が平成一八年

一二月三日に行われた。今回も駅伝部OB達が出場して日頃の練習の成果を大いに発揮し熱走した。有岡剛志氏(三九回卒・三区区间賞三二秒、野口直人氏(四七回卒)(西日本鉄道)、秋平哲信氏(四七回卒・黒崎播磨)、植木大道氏(五〇回卒・トヨタ自動車九州)。また、今年正月に開催されたニューイヤ駅伝・第五一回全日本実業団対抗駅伝競走大会にも右記の諸氏が出場し健闘した。

第一九回福岡市景観賞を受賞



緒方徳重氏(一〇回卒) 中央区大名のオアシス・迎賓館と呼ばれ、市民に親しまれている「エンジョイスパース大名」を運営し、優れた都市景観の創造と演出につながる企画や活動により授賞された。平成一七年一月七日、市役所の一五階講堂で市長より授与された。同氏は、当時スピードスケート選手として全日本国体、インターハイ等で活躍し、冬季国体で北国勢を抑え福岡県に初の得点をもたらした。また、同スペースの利用を「大濠人」に呼びかけている。

祝！Jリーガー誕生
赤星拓(五〇回卒) 大濠から二人目となる選手がサガン鳥栖に誕生した。三月四日の対アビスパ福岡との開幕戦にスタメン登場する。ゴールキーパーで大学日本代表としてユニバーシアードなどで活躍した。また、一人目の田代有三(四八回卒)は鹿島アントラーズのエースで活躍中だ。健闘を祈る！



9

支部だより・他

第五三回同窓会総会盛大に

平成一八年五月二〇日、ホテルニューオータニ博多において、総会及び懇親会が開催された。当日は台風の接近も心配されたが、来賓教職員も含め二五〇余名の出席を得て、無事盛大に会を執り行うことができた。



今回のアトラクションは、プロのバンドによるジャズ演奏。受付には大濠のノベルティグッズを販売するコーナーが設けられ、品物は完売。恒例のお楽しみ抽選会は、ヤフーDMMの招待券など今年も豪華景品が盛りだくさん。校歌の合唱で幕を閉じた。



関西支部

関西支部の最近の活動状況を報告致します。京阪神の同窓生を対象とした関西支部は、昨年第二六回の総会をホテルモントレ大阪で十月十四日に行いました。家宇治校長先生を始め五名の来賓、関西支部会員二七名の出席のもと、盛大に開催されました。この会報をご覧になられた関西在住の学生さんや一度顔を覚えてやろうかな?と思われた同窓生は遠慮なくご連絡下さい。(連絡先は、〇六一六四五一四五〇三)

後藤支部長(後) 景気が多少回復の兆しが見える中、同窓会会員各位がより一層元気になる様エールを送りますと共に、今まで以上に同窓会本部のご支援、ご協力をお願い致します。

筑紫支部

筑紫支部(支部長平嶋文憲・八回卒)は、春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市、那珂川町に在住する卒業生で構成。第一回総会は平成一八年三月二五日、二日市の大観荘で開催。第一部は記念講演会。「天神様が愛した植物」という演題で、太宰府天満宮の権禰真、御田良知氏をお招きして行われた。第二部総会行事に続き、第三部懇親会。山下同窓会長の発声による乾杯の後は歌手二階堂進さんの歌謡ショーによって大いに盛り上がった。最後はもちろん、校歌斉唱。

支部長は「次回の総会にはこれまで以上に多くの皆さんに参加していただきたい。」と語った。

鶴友会

(大濠高校同窓会福岡市役所支部) 平成一八年度鶴友会総会を、平成一八年八月四日に福岡市の中華料理飯店の「平和楼本店」にて開催しました。今回で第二四回目を迎え、当日は、ご来賓として夏休み期間中にもかかわらず学校から、家宇治校長先生をはじめ、高、中の教頭先生、同窓会から山下同窓会会長並びに役員の方々、そして鶴友会の顧問である大濠高校出身の市議会議員をお迎えして和やかに開催しました。

今回の総会の出席者は、四〇名程度で例年よりも若干少ない総会になりましたが、その分来賓者との会話も弾み、より一層親睦を深めることが出来ました。懇親会の最後には、恒例であります校歌を全員で肩を組んで合唱をするともに、博多の伝統であります、博多一本メでお開きになりました。鶴友会も、今後は、団塊の世代の職員の退職により会員が減少して参りますが、会員一同一致団結して、同窓会は勿論のこと学校並びに福岡市の発展に寄与して参る所存であります。今後とも、鶴友会に対し更なるご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

鶴友会幹事長 市丸知彰(一三回卒) habu.soi@city.fukuoka.jp

福大医学部支部

母校への応援歌 支部長 高木忠博(一五回卒) 我々は福大OB会の一つ福大医学部支部ですが、

総勢一二人の卒業生が居ます。全員、医師国家試験に合格しそれぞれ活躍しています。我々の職業は卒業後も全員同じ仕事に携わりますのでOB同士の関わりは一生続くのが特殊な点です。小生は福大医学部第一回卒として大濠生五人と共に入学し以後三〇年間入学して来ました。近年は他の私学からの入学者が急速に増えています。今迄は附属高校としてのメンツが立っていましたが、近年入学生数の減少と共にその附属高校としての存在が薄くなってきているのが心配です。福大医学部支部も百人を超えてきたのでキチンとした支部組織を作る時期に来ている様に思います。母校大濠は進学成績も着実に上昇しています。我々医学部でも入学総代、卒業総代者、研究奨励賞受賞者、ハーバード大学等海外留学生、同窓会長も輩出しています。福大直系の附属高校出身者であると言う自負と誇りを持って仲間と共に頑張りたいと思います。皆、実力ある医師研究者に成長しているので今後が大変楽しみです。

関東支部

関東支部は、東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城の一都四県在住の同窓生を中心に、毎月第三土曜日に定例会を開催しています。特に、正月の新年会・四月の花見会・六月の親睦旅行会・八月の暑気払いの会・十月の関東支部総会・十二月の忘年会は盛大に集まり、親睦を深めています。

昨年度は、十二月にバスケットボール部のウィンターカップの応援で在京同窓生一同、大いに盛りあげました。大会前々日に、新橋の中華料理店に選手十五名と田中監督、トレーナーの先生等、関係者をご招待し呑み食へ放題の歓迎壮行会を開催しました。その甲斐あってか、ウィンターカップは銅メダル(三位)となりましたが、トーナメント運次第では優勝もねらえたと思っております。また、ブラズバンド部の全国マーチング大会の練習場確保や、春高バレーの応援、その他関東近郊での全国大会出場クラブの応援には同窓生一同応援に駆けつけています。関東支部の事務局は、JR中央線西荻窪駅前です。

関東支部事務局長 田中隆弘 〇九〇一三五三五一六六〇六

東海支部

東海支部は設立から二年がたち、活躍したい



先輩方が団塊の世代でリタイアされても、ますます支部活動にご尽力いただいで、感謝しております。 昨年一七年は八回卒の大田支部長が勇退され、一三回卒の門田新支部長に若返り若い会員を中心とした新しい執行部に生まれ変わりました。

昨年一月に開催した総会には一五名の出席者がありました。総会には、家宇治校長先生のご臨席を賜り母校の後輩諸君の活躍の状況を報告いただき、懐かしくまた頼もしく思い、博多弁での懇親会は盛り上がりました。 東海地方は博多から距離的にも文化的にも離れていますが、数少ない大濠OBはたくましく活躍しております。これからも潜在会員の発掘に努力していきたいと思っております。 進学や転勤で名古屋へ来られたら是非ご連絡ください。 事務局 保坂明仁(二四回卒)

六回卒商業科同窓会

世話人一同 昭和三十一年入学以来、半世紀ぶりの商業科学年同窓会を平成一八年一〇月八日博多料亭「稚加菜」で行いました。恩師井上一利先生を囲み当時の懐かしい思い出を語り合い、青春時代にもどり、楽しい一時を過ごしました。また、平成二二年に迎える卒業五〇周年を盛大に開催しようと出席者全員で誓い合いました。六回卒の皆さんには健康に留意され又の再会を実現しましょう。(消息は幹事品川国繁までお知らせください。 〇九二一八〇六一六二一一)

一六回学年同窓会

九月二日(土)、八年ぶりの学年同窓会を博多区下川端の福寿飯店で開催しました。この八年の間、一六会のシンボルの存在でありました、浅田和俊先生、そして野田雅夫先生、山本長三先生、足利武三先生、とつぎつぎと亡くなった方が増えて大変寂しい限りでした。今回は、青木重夫前校長、上村紘一郎前校長



が祝い駆けつけていただき、総勢一〇一名の熱気あふれる学年同窓会となりました。もう、五五・六歳。風貌もかなり変化し思い出せない人、名刺交換で思い出す人というわけで、昔話に盛り上がり料理になかなか手が伸びずのあつという間の二時間半でした。七組の石井孝典君がはるばるロンドンより駆けつけてくれて、懐かしそうに楽しんでたのが印象的でした。縮米七広援団長以下団員数名が音頭を執り、全員校歌斉唱で「ここはひとつ大濠高」。ひさびさに聞く応援エールそして校歌。最高でした。

幹事 長尾良則

一七回クラス会

三月二五日に林 正弘さん(一七回卒)が「同窓会なんでも掲示板」に投稿していた「第一期三年五組のクラス会」が予定通り五月二七日(土)午後六時より中央区天神一平和楼本店一で開催されました。



当日の様子が幹事の柴戸徳雄さんからとどきました。当日出席した級友達から「よう知らせてくれた」、「催してくれたありがとう」と喜んでくれて、計画した甲斐があったそうです。残念ながら一回連絡が貰えなかった級友で、この報告で知った方は柴戸幹事まで連絡してください。

連絡先 〇九二一八一—〇三三五

卒業三〇周年記念同窓会(三三回卒)

八月盆過ぎの残暑厳しき折であったが、昭和五十一年卒、二三回卒の「卒業三〇周年記念同窓会」が盛大に挙行された。家宇治校長はじめ当時の恩師である広瀬信雄先生や近藤郁隆先生などをお招きし、総勢百名になんなんとする出席者数であった。中には卒業以来の再会も多々あり、思い出話で盛り上がった。多くの同級生が集まったの久しぶりの校歌斉唱は、青春の日々を蘇らせてくれた。長年途絶えていた親交も再び深まり、新たなネットワークも生まれたようだ。



一同、毎年の同窓会総会での再会を期しての散会となった。二三回卒の今後の同窓会での活躍が期待される。

「福岡城復元」に期待

母里忠一氏(九回卒・新開裕司氏(三四回卒)



福岡城天守閣の復元が話題になっていく。母里忠一氏は福岡城築城四〇〇年の今年、新年の演舞奉納を起点に「福岡城天守閣復元」を盛り上げたいと気合い充分。福岡藩に伝わる剣法は柳生新影流。母里氏は民謡「黒田節」のモデルとなった福岡藩士・母里太兵衛の末裔。柳生新影流を継承する柳心本部の約四〇名によって演舞が奉納された。

新開裕司氏(福岡青年会議所副理事長)は福岡城復元を目指して設置された「夢動力ふくおか推進特別委員会」の委員長を務める。その取り組みの成果として「夢ふくらむ福岡城」という歌を作り、市内の小中学校などに配布した。また昨年市庁舎の一〇階から「福岡城巨大モザイク壁画」を掲げた。これは市内の小中学生約六〇〇〇人が力を合わせて作ったものだ。因みに新開君は、最初「うまかつちゃん」のCMに出てた少年です。もう二〇年以上前になります。

大濠高校が福岡城址に隣接していることから、福岡城の復元は我々同窓生にとってもたいへん喜ばしいことであり、広く市民運動としても盛り上げたものである。

大八会ゴルフコンペ開催

八回卒で一九年に亘り開催してきた、ゴルフ大会も一月七日の今回で、六五回を数えました。真冬の玄界灘を横目に前日の雨もあがり、比較的穏やかな天候の中九州の名門コース「古賀」でプレイすることができました。「体」は、動かすとも「口」ばかりは、達者で一日中小さいボールを追いかけました。全員最悪のスコアの中一番がんばった山下寛治君が優

勝し、準優勝は、光安善四郎君でした。ちなみに、筆者(本村)は、六位でした。井上会長から、今後二〇〇回・一五〇回開催を目ざし、体力と資金の続く限り開催するとの決意表明がありました。

「大八会」は平成元年に八回卒の有志二名が集ってゴルフコンペをしたのを期に結成。一九年間で六五回のコンペ(年四回程度)と懇親会を行いました。現在会員は四〇名、六〇回大会を記念してアルバムを製作しました。



濠羽会(バドミントン部OB会)

濠羽会は昨年一月三日、大川市で開催されたバドミントンの育成普及で歴史ある中島杯バドミントン大会に出場した。大濠の名前を背負った老若の輩に今回勝利はなかったが、有意義な一日を送った。次回は是非現役を加えて出場したいと思う。



硬式野球部OB会

新年一月二日、天神福新楼において硬式野球部のOB会総会並びに懇親会が行われた。総会に続く懇親会は来賓の今津邦洋先生(元部長)の新年の挨拶に始まり、昨春卒業した大学一年の八名を含め総勢四〇名の賑わい。ソフトバンクホークスのチーフ・マネージャーの養原孝宏君(二六回卒)と西武ライオンズのピッチング・コーチの森山良二君(二九回卒)の舌戦も笑いを交えて見応えがあった。最後は中道優太君(五三回卒・九州共立大学野球部捕手)の音頭で校歌斉唱し、お開きとなった。天神の屋台「さつまや」(三四回卒、田中康秀君の店)は昨年に続いて十数名の二次会(三次会)で賑わった。



「さつまや」に集合

大濠高校・中学校新校舎

新校舎・体育館建築準備着々と

かねてより計画が進められていた校舎・体育館建て替えの計画骨子が決定した。

着工は平成二〇年四月。体育館の完成は平成二一年二月。校舎の完成は平成二一年一月。引越越しをして使用を開始するのが、明けて四月からとなる予定。その後、グラウンドの整備を終えるのが平成二三年四月。

現在は設計の概要が決定し、完成予想のイメージが出た段階で、いよいよ本格的にイメージできるようになった。学園創立六〇周年にむけて、最大の事業であり、同窓会諸兄の絶大なる支援が必要であることから、今後同窓会の結束を益々固めなければと考えている。

(左図は完成予想パース)



OHORI HIGHSCHOOL O.B NETWORK

福岡大学附属大濠高等学校同窓会ホームページ

<http://www.ohsa.jp>

Contents

- ・同窓会からのお知らせ
- ・学校の近況報告
- ・同窓会掲示板
- ・大濠人紹介
- ・会報バックナンバー
- ・会員情報変更受付

同窓会ホームページの情報

<http://www.ohsa.jp>

同窓生の近況ニュースなど情報不足でホームページがまだまだ万全とはいきませんが、国内外の各界各層で大濠魂を発揮して活躍中の同窓生の皆さんから、校友が待つてましたと喜ぶ役立つ情報や、これはと思われる近況を掲示板に投稿していただきたいと思いません。

最新の会員情報、着信メールを紹介します。(抜粋、順不同)

山内 耕輔さん(二二回卒)

NYで単身赴任中です。

西本 秋雄さん(二九回卒)

二九回卒の近況や活動状況などに関する情報があれば嬉しいのです。

折田 秀平さん(四一回卒)

卒業以来連絡先を伝えていませんでした。この度福岡に帰ってきました。

田中 照吾さん(四四回卒)

大学のときに引越してして住所変更をしていなかったです。

林田 真一さん(二五回卒)

○六春、福岡から大阪に転勤となりましたので、大阪の総会に出席したいと思っています。

庄子 文郎さん(二五回卒)

同窓会東海支部より引越のため、福岡へ来ました。再登録願います。

文武両道をバックアップ。

インターハイ、ウインターカップ、春高、都大路、そして甲子園へ

同窓会特別会員による母校サポートシステム

年会費 文の部 一口 10,000円

武の部 一口 10,000円

在校生を文武両面において支援します。

年一回、懇親会、報告(活動・会計)会を行います。

会費は年度初めに納入下さい。納入方法は同窓会室まで、問い合わせ下さい。

「特別会員」委員長 川邊 義隆(同窓会副会長・6回生)



伝言板

左記の回・卒生の方々は今年が周年記念の年です。是非学年別の同窓会を企画して下さい。連絡・名簿の作成など同窓会本部で協力いたします。

四回(昭和三二年卒)：五〇周年
一四回(昭和四二年卒)：四〇周年
二四回(昭和五二年卒)：三〇周年
三四回(昭和六二年卒)：二〇周年
四四回(平成八年卒)：一〇周年

訃報

昨年秋も深まった頃、訃報が届いた。写真部OB古賀法明君(二八回卒)が飲酒運転の車の犠牲となった。なんともやる瀬ない。「飲酒運転を決して許さない」そんな社会の構築のため、同窓会生一同の決意を願う次第であるとともに、心から古賀君の冥福を祈りたい。

編集後記

『大濠人』今号より、三四回卒の田平裕隆君に編集・印刷と協力していただくことになった。田平君の家業は「エース印刷」。もちろん彼はそこで仕事をしている。同窓会広報の係としては百人力を得た思いだ。新卒業生の諸君、同窓会入会おめでとう。ここから歓迎いたします。(W)